

目標達成計画

作成日: 平成 22年 2月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		一人ひとりの一日の過ごし方、本人の心身状態の有する力量等の理解や変化の状況の把握	ケア表に細かな部分や見落としがないように本人の状態記録の習慣を身につける。	スタッフ間での情報共有ができるよう、申し送りの徹底。記録の漏れが無いかの点検を行う。	3ヶ月
2		地域に根ざしたグループホームの意義や地域との関わり。交流会などの実践	自治会の働きに参加できるような関わりを持つ。ホームを知ってもらうという事を必要と考え、案内や見学会などより多くの方々に来てもらう努力をする。	AED設置において、地域への連絡。AEDの講習会実施の予定を立てる	6ヶ月
3		入居者のレベルの低下において、スタッフ一人ひとりが入居者の個々の心身レベルを理解し合い共通視点での支援、ケアに取り組んでいくことが必要。	心身共に減退の見られる方の安全で安楽を再確認し、ケアのあり方(ケアプランの変更)に柔軟性を持ち介護、支援する *ターミナルケアについての介護・支援の再確認	本人の状態を常に観察し、状態の変化をスタッフ共に話し合い(1日/3回)丁寧に分かりやすく記録し、ケアリーダーは確認のサインを入れる	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。